

パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャー (OP)

強い部材 (テクノビーム・集成材柱) を使った上で、邸別構造計算を実施するテクノストラクチャーは強さ、信頼度が他の木造とは違います。



テクノストラクチャーは鉄を木で挟むことによって、高強度・高耐久を実現するとともに、従来の木造住宅では実現不可能だった間取りの自由度を実現。
また、木造と同じように現場での加工を行うことができ、日本人が大好きな木のやさしさを大切にしつつ、従来の木造よりも強度を向上させたのが、テクノストラクチャーの家なのです。

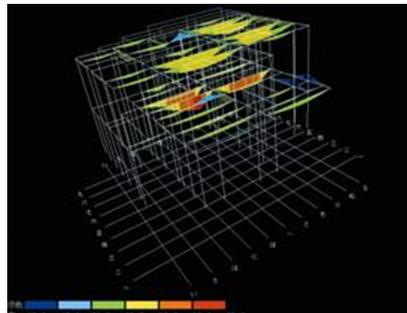


テクノストラクチャー 軸組イメージ図

特徴

2

一邸一邸の構造計算 388 項目の計算



コンピューターにて一邸一邸構造計算を行う
388 項目、3次元構造計算実施は、テクノストラクチャー工法だけです。
全部構造計算書付き住宅！(保証書付き)



実物大の住宅に地震波を加え、耐震性能を実証
テクノストラクチャーで実際に建てた家を振動台にかける実験で、震度 7 でも構造体の損傷・変形はなく、5 回の激震にも十分耐える構造強度であることが確認されました。

テクノビームとは？



災害や経年劣化によってたわみやすい梁。そこに鉄を入れて補強したのがテクノビームという、パナソニックオリジナルのハイブリッド梁です。軽量H型鋼を芯材に上下を木で挟んだオリジナル複合梁で、抜群の強度を誇ります。

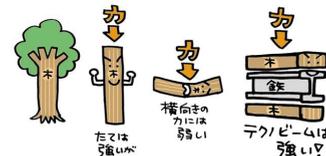
- 高強度 たわみは木製梁の 1/4 以下 (30 年後)
- 高耐久 H形鋼は高耐久の亜鉛メッキ
- 高精度 工場生産で性能安定

特徴

1

高強度&高耐久度

テクノビームは長期荷重にも「たわみ」がほとんど進行しない高耐久性能を実現



木は生育してきた縦向きには強いですが、横向きにして使うと弱い。
木造の弱い部分に鉄骨を用いたのがテクノビームです。



住宅の重みを支える梁には、時間の経過とともに若干のたわみが生じます。特に木製梁は、荷重がかかり続けると、たわみの変形が年々増していくクリープ変形という現象が起こります。
テクノストラクチャーは長期間の荷重にもクリープ変形はありません。

特徴

3

広々開口部や吹き抜けが可能に

鉄骨やRC造でないと不可能といわれてきたプランも、テクノストラクチャーなら木造でありながら実現する事ができます。

テクノビームという木と鉄の複合梁によって、在来の木造住宅よりも広々とした開口部や吹き抜けが可能になりました。またどんな大胆なデザインでも、構造計算によって強さの裏付けをとるので安心です。(構造計算の結果、安全性に疑問がある場合には、一部デザインの変更をお願いするケースがあります。)

一般木造住宅の持出しバルコニー

テクノストラクチャー最大持出しバルコニー

